

公表

令和7年度 事業所における自己評価総括表

○事業所名	通所支援事業所 ほほ笑み		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 19日		～ 令和8年2 月 6 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 9 日		～ 令和8年2 月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・屋外活動を中心にし、気持ちの解放や体力向上を目指しています。長期休み中には外出する機会を増やし、社会経験を広げる取り組みを行っています。	・季節ごとの自然に触れながら、森林の起伏のあるコースを歩いたり、公園のコンビネーション遊具を使って体を動かす時間をとっています。 ・外出先には博物館や工場の見学、歩くスキー、ボウリング、カラオケなどがあります。	・安全に活動できる職員体制作りや安全管理マニュアルの徹底を行います。外出先や活動内容が固定化しないように、個々の興味や体力に合わせた活動を提供していきます。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・建物や施設設備の老朽化。	・古い木造建築の建物であり、バリアフリー構造になっていません。	・常に安全点検を行い、修繕や改修に努めています。
2	保護者間の交流が少ない。	コロナ禍以降、保護者が集う行事や話し合いの場を設定していません。現在、子育ての悩みや進路について保護者同士で意見交換をしたいというお声が聞かれています。	個人的なレベルでの交流として、卒業生の保護者から進路についてお話しを聞く機会を設けました。今後は研修会への参加を広く呼びかけると共に、事業所内での交流の企画を検討していきます。
3			